

広報

しょうぼう



2014

No.40

平成26年12月1日

発行 千曲坂城消防本部

長野県千曲市大字磯部 1221

編集 総務課

電話 026-276-0119 FAX 026-276-9119



9.27 御嶽山噴火 戦後最悪の火山災害

長野県消防相互応援協定に基づく災害派遣
救急、救助、搜索活動に当たる

平成26年9月27日11時52分頃、御嶽山で噴火が発生しました。

この噴火により、57名の尊い人命が失われ、いまだ6名の行方不明の方が発見できないという戦後最悪の火山災害となりました。千曲坂城消防本部としても、木曾広域消防本部からの要請に基づき、長野県消防相互応援隊として、9月28日から10月17日の間14隊、延べ42名の隊員が救急、救助、搜索活動に当たりました。(関連記事 4ページ)

平成26年11月1日現在

管内の

世帯と人口

	世帯数	人口
千曲市	22,045	60,730
坂城町	6,005	15,796
計	28,050	76,526
	世帯	人

「備えて安心・地域防災」



管理者 岡田 昭雄

毎年のように懸念される異常気象ですが、平成二十六年は特に豪雨による土砂災害等の甚大な被害の発生が相次ぎました。七月には台風の影響により南木曾町の梨子沢で、八月には局地的豪雨により広島市で、集中的な降雨により急激に地盤が緩み土砂災害が発生している傾向が有ります。被災された地域の方々はみな一様に「今だかつてこのようなことは無かった」と口にされており、災害発生の予測の困難さを我々は改めて感じざるを得ませんでした。

もちろん災害の原因は異常気象ばかりではありません。記憶にも新しい御嶽山の噴火災害では、秋の行楽シーズンの週末で賑わう多くの登山者を噴火に伴う噴石や火山灰が襲い、五十七名の方が亡くなり、未だ六名の方が行方不明となっております。千曲坂城消防組合でも長野県消防相互応援隊の協定に基づき、行方不明者の発見のために六度の派遣を実施しており

ます。帰りを待つご家族の方々の気持ちや思えば来春以降の捜索再開が待たれるところであります。幸いにも千曲市では発足以来そのような甚大な被害を伴う自然災害は発生しておりませんが、昨今の情勢を鑑みるに、いつ私たちの身に自然の脅威が降りかかるかも知れません。例えば本年二月、発達した低気圧の影響により県内各地で大雪となり、統計開始以来の最大記録を更新する積雪量となる地点が県内に多数ありました。しかし、このような時こそ、地域住民の皆様が互いに助け合う「地域防災」の形が非常に大きな効果を挙げます。当管内で大雪による人命への被害が無かったことは、地域住民の皆様の防災意識と自衛力の賜物と存じ上げております。

当消防組合では定期的に防災訓練や救命講習を実施しております。これからも災害への高い防災意識を持って頂くとともに、さらに日常に起こりうる事故や怪我への備えとして、これら講習への積極的な参加をよろしく願っています。また、土砂災害、河川氾濫といった予測を立てて備えるべき災害のために、この機にお住まいの地域のハザードマップを今一度ご確認いただき、避難場所や避難経路を是非見直して下さい。個人の防災意識は集まれば地域防災力の高まりとなり、いざと言う時に大切なものを守るための大きな力となることでしょう。

皆様におかれましては、日頃からの消防組合行政に対しまして深いご理解とご協力を賜っておりまして、心より感謝を申し上げます。

さて、本年も自然災害の脅威を各地で目の当たりにすることばかりであり、八月の広島土石流災害では消防の応援体制である「災害時緊急消防援助隊」が派遣されるに至りました。また、今夏は気象庁から昨年新設されたばかりの「特別警報」が幾度も発令され、もはや異常気象を見逃ごせない事態が窺えます。

県内でも七月には南木曾町で土石流が発生し、その被害の大きさを鑑みるに、我々には山間地ならではの防災意識の持ち方が改めて求められていることを感じます。その様な各地で想定される災害に對して当消防組合でも専門知識や技術の増進等、消防力・防災力の

消防長あいさつ



消防長 望月 則男

総合的な強化を進めております。具体的にはまず、統括指揮隊の運用による災害現場での活動統制、管内の消防署間での当直人員の適正数配備による災害対応力の向上、統合型位置情報システムの導入による緊急通報時の出勤時間の短縮と初動体制の充実、各種救急セミナーや講習会への職員の積極的な参加などが挙げられます。

また、我が国の社会経済は回復の兆しは見えるものの、依然として景気低迷が続いており、地方財政運営も引き続き厳しい状況に置かれております。当消防組合の事務執行も、業務内容及び効果の精査と効率化の推進を図っております。当消防組合の本部庁舎は耐震化工事のための建て替えを控えており、また、検討部会を設けての消防救急無線デジタル化整備事業の推進や、最新式の消防資機材の導入共々、行財政上の適正な運用を厳命しているものであります。

当消防組合は我々に求められているものを的確に把握し、郷土の安心・安全のため、これからも職員一丸となって消防業務に邁進して参ります。今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



新たな消防組合議員

議長に 小山 嘉一氏

千曲市議会議員構成が変わり八月一日、同議会臨時会で当消防組合議会議員として九名が選出されました。

また、八月十八日の消防組合議会臨時会において、議長に小山嘉一氏が就任されました。

消防組合議会議員及び監査委員は左記の方々です。

消防組合 議会議員・監査委員

- 議長 小山 嘉一 (千曲市)
- 副議長 大森 茂彦 (坂城町)
- 議員 和田 重昭 (千曲市)
- 議員 宮坂 重道 (千曲市)
- 議員 荻原光太郎 (千曲市)
- 議員 林 愛一郎 (千曲市)
- 議員 中村 了治 (千曲市)
- 議員 小川 修一 (千曲市)
- 議員 袖山 廣雄 (千曲市)
- 議員 倉島 清香 (千曲市)
- 議員 塩野入 猛 (坂城町)
- 議員 西沢 悦子 (坂城町)
- 監査委員 中澤 守 (坂城町)
- 監査委員 荻原光太郎 (議会選出)

人事行政の運営等

〔千曲坂城消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例〕に基づく概略です。
 (詳細は、千曲坂城消防本部のホームページで公開しています。)

1 職員の年齢状況

平成26年4月1日現在

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	計
人数	24	14	13	17	9	7	4	7	95

2 給与等の状況

(1) 人件費の状況

平成25年度

管内人口	25.4.1	歳出額	実質収支	人件費	人件費率
77,198人		8億4,909万4,564円	4,061万7,559円	6億9,895万2,101円	82.3(%)

(2) 給与費の状況

平成25年度

職員数	給与費				1人あたりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
94人	3億18万5,088円	7,612万1,109円	1億839万1,761円	4億8,469万7,958円	515万6,361円

(3) 平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況

平成25年度

職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
94人	27万144円	32万2,510円	35.7歳

(4) 初任給の状況

平成26年4月1日現在

学歴	一般行政職	国の制度
		一般行政職
高校卒	14万100円	14万100円
大学卒	16万1,600円	17万2,200円

(5) 級別職員数の状況

平成26年4月1日現在

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職	主事補・主事	主任主事	主任・主査	主査・係長	主幹・課長・署長等	次長等	消防長等	
階級	消防士・副士長	副士長・士長	士長・司令補	司令補・司令	司令・司令長	司令長	消防監等	
人	26	16	32	8	10	2	1	100%
構成比	27.4%	16.8%	33.7%	8.4%	10.5%	2.1%	1.1%	

(6) 期末手当・勤勉手当

平成25年度

区分	消防組合		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.675月分	1.225月分	0.675月分
12月期	1.375月分	0.675月分	1.375月分	0.675月分
合計	2.6月分	1.35月分	2.6月分	1.35月分

(7) 退職に係わる手当

平成25年4月1日現在

区分	勤続20年(月分)	勤続25年(月分)	勤続35年(月分)	最高限度額(月分)
消防組合	28.7875	38.955	55.86	55.86
国	28.7875	38.955	55.86	55.86
加算措置	定年前早期退職特別措置2～20%			

※職制上の段階、職務の級等による加算措置有

(8) その他の手当

平成25年4月1日現在

区分	内容(支給対象職員数・支給額)
扶養手当	①配偶者13,000円 ②①以外の扶養親族6,500円 ③①なしの扶養親族の1人は11,000円
住居手当	賃貸等により(22人) 支給なし～最高27,000円
通勤手当	距離、通勤方法等により(82人) 支給なし～最高8,900円
管理職手当	主幹28,400円～消防長49,500円(13人)
危険手当	給料の5%(当直者77人)・3%(日勤者5人)・2%(管理職13人)
救助手当	月額1,500円(隊員30人)
救命士手当	月額2,000円(救命士24人)・特定行為1回510円



庁舎改築部分



また、改築整備計画内容については、昭和四十五年に建築した部分(六一一㎡)の取り壊しを行い、平成八年度に増築整備した部分(通信指令棟、新車庫棟)に増築庁舎を設け、出動体制の支障とならないように整備していく予定です。いずれにしましても、整備期間中におきましては、ご不便をお掛けすることになりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

消防本部兼戸倉上山田消防署庁舎の改築整備については、本年度中に基本・実施設計を行い、平成二十七・二十八年度に改築整備を進めていく予定です。

**消防本部庁舎建設
準備室からのお知らせ**

御嶽山噴火災害に係る活動状況について(報告)

平成二十六年九月二十七日午前十一時五十二分頃、長野県王滝村の御嶽山の噴火により、死者五十七名、負傷者六十九名(重症二十九名、軽症四十名)、行方不明者六名が犠牲となる、戦後最悪の火山災害が発生しました。この災害を受けて、災害発生地である木曾広域消防本部の要請に基づき、長野県消防相互応援隊として千曲坂城消防本部では救急隊、救助隊、後方支援隊を現地へ派遣し活動しましたので、その概要について報告いたします。

この度の災害発生場所は火山活動中の山岳地であることに加え、標高三千六十七mという高所であり、捜索活動を行う場所には火山性有毒ガスが発生し、大量の火山灰が行く手を拒む状況の中、捜索期間中には、二回の台風が襲い、終盤においては、山頂付近は初冠雪、また、地面は凍結するなど、災害発生場所としては、過去に経験のない過酷な条件下での活動であり、まさに自然との闘いでもありました。

千曲坂城消防本部の出動部隊については、九月二十七日二十三時三十七分に長野県内消防本部の代表機関である長野市消防局からの出動要請を受け、二十八日午前一時二十分に消防本部を出発し集結場所である「日義木曾駒高原道の駅」に午前三時00分に到着しました。到着後直ちに活動に入り、救急隊にあつては、負傷者の搬送並びに応急救護等の活動を行いました。

また、救助隊については、御嶽山の山頂付近である一ノ池、八丁ダルミ、王滝頂上山荘周辺の捜索活動を行いました。捜索活動にあつた隊員によると、「火山灰や有毒ガス、噴煙に加え、二〜三センチほどの積雪や気温低下など、かなりの厳しい状況であつたが、行方不明者が残っている段階での活動打ち切りは、つらく非常に残念。来春の再開後、全力で行方不明者全員を発見したい。」と過酷な活動状況について語るとともに、来春以降の捜索活動の再開に気を引き締めていました。

現時点では、十月十六日に長野県知事の苦渋の決断により、捜索活動は打ち切りとなりましたが、来春以降に派遣等の要請があつた場合には、千曲坂城消防本部としても、出動体制を整えた上で捜索活動等を行う予定としております。

この災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福を衷心よりお祈りいたしますとともに、負傷された多くの皆様に謹んでお見舞いを申し上げ、活動報告とさせていただきます。

※千曲坂城消防本部出動部隊関係

御嶽山の火山活動に係る出動状況

派遣隊	活動日	救急隊		救助隊		支援隊		合計	
		隊員	人員	隊員	人員	隊員	人員	隊員	人員
1次派遣隊	9月28.29日	2	6			2	4	4	10
2次派遣隊	10月4日					1	3	1	3
3次派遣隊	10月11日			1	5	1	1	2	6
4次派遣隊	10月15日			1	5	1	1	2	6
5次派遣隊	10月16日	1	3	1	5	1	2	3	10
6次派遣隊	10月17日			1	5	1	2	2	7
合計	7日間	3	9	4	20	7	13	14	42



坂城署 夏休み親子消防体験教室



集合写真 ねずこんもやってきました!

七月二十七日、坂城消防署において「夏休み親子消防体験教室」と題して、坂城町内の小学生を対象とした、親子参加型のイベントを開催しました。

この企画は、幼少期から地震体験や放水体験、救命講習を学んで命の大切さを知ってもらい、防災やいざという時のための関心を高めてもらおうという目的で開催しました。

このイベントは今回で四回目となり、今年は親子合わせて三十名の方に参加いただきました。また、身近な人が倒れるなどした場合、いざというとき役立つ心肺蘇生を実際に体験し、AEDの

使い方なども学んでもらいました。

火災の際には消火器を使って初期消火をする方法など、児童にも実際に模擬消火器を使い体験してもらいました。今年も暑い真夏日が続きましたが、子供たちには夏休み中の良き思い出となったのではないのでしょうか。

終了後には、保護者の方々からも好評をいただき、大盛況に終わりました。

今後も小さい頃からの防災教育の機会を設けて、このようなイベントを企画したいと思っています。

第35回 防火ポスター展 開催

例年実施されている防火ポスター展は、小・中学校児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に実施しており、今年度は戸倉上山田・更埴地区を中心に各小・中学校から力作三百九点が出品されました。

作品の審査には担当する小学校の先生と消防長等があたり、審査の結果、金賞六点、銀賞八点、銅賞十五点が選ばれました。

なお、本年度金賞作品の中から、戸倉小学校五年生の上原侑大さんの作品が最優秀賞として、消防本

最優秀賞



▲上原侑大さんの作品

部が発行する来年の防火カレンダーに選ばれました。そして、優秀賞に選ばれた治田小学校五年生の中山佳音さんと、埴生小学校六年生の宮川愛菜さんの作品が、埴科消防協会が各戸に配布する今年度の防火チラシの図案に採用されることになりました。

入賞作品の二十九点は、各種行事の際に掲出する等、火災予防の一翼を担うことになっています。

審査風景 消防署会議室にて

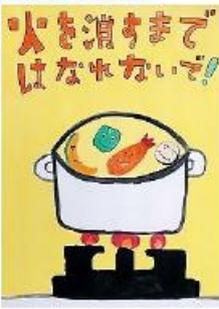


優秀賞



▲中山佳音さんの作品

宮川愛菜さんの作品



- 金賞入賞者は次の方々です。
- 戸倉小学校五年 上原 侑大さん
- 治田小学校五年 中山 佳音さん
- 埴生小学校六年 宮川 愛菜さん
- 治田小学校五年 宮崎 まいさん
- 更埴中学校一年 櫻井 七美さん
- 更埴中学校一年 新沼 勇人さん

新車両の紹介

平成二十五年、人員搬送車と水槽付消防ポンプ自動車、戸倉上山田消防署と更埴消防署に、それぞれ配備されました。

人員搬送車とは、災害現場への出勤時等に、多数の隊員を搬送することを主な目的とした消防車両です。広い車内スペースを利用して資機材を搬送したり、災害現場での一時的な待機場所とする等、様々な使い方が可能です。

水槽付消防ポンプ自動車とは、水槽を備えた消防自動車で、現場到着後、素早く放水することが出来ます。

今回配備された車両は、二〇〇リットルの水を積載している他、少ない水量で効率の良い消火活動が可能となる、最新のシステムを搭載した消防自動車です。

平成二十六年には、高規格救急自動車と更埴消防署に配備しました。

この車両は、救急要請時の救急隊員の対応に感謝の気持ちと、「一人でも多くの命を救うため、救急車の購入に使って欲しい。」と、千曲市民の方から、ご寄付をいただいたことから配備した救急自動車です。

住民の皆さんの安心・安全のため、大切に使用させていただきます。



◀人員搬送車



▲水槽付消防ポンプ自動車



◀高規格救急車

つけましたか？住宅用火災警報器！

消防法の改正により、住宅への「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられています。

住宅火災の実態

建物火災での死者の **87.7%** は、住宅火災によるものです。

原因は**逃げ遅れ**によるものが半数を占めています。火災から命を守るために、適切な箇所へ設置しましょう。



住宅用火災警報器の清掃・点検を忘れずに

「いざ」というときに、住宅用火災警報器が動くように、半年に1回は清掃し、作動点検を行いましょ。

千曲坂城消防本部管内の住宅用火災警報器設置率は83%です。(条例どおりに設置されているものは78%)

一人暮らし高齢者家庭の防火指導を実施

～12月初旬から～

暖房機器など火気の取り扱いが頻繁になり、火災が多く発生する時季にあたり、住宅火災から高齢者の死傷事故防止を図ることを目的とする「一人暮らし高齢者家庭の防火指導」を、各地区民生児童委員の皆様と、消防団の方々にご協力をいただき、本年も12月初旬から翌年の1月末日にかけ実施いたします。なお、訪問の際は、訪問家庭に民生児童委員様から事前連絡をしてお伺いいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

火災予防条例改正により「消火器の準備、届出」義務化
平成二十五年八月十五日に京都府福知山市の花火大会会場で発生した火災を踏まえ、千曲坂城消防本部では、火災予防条例の改正を行い、屋外で祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の物の集まる場合、その主催者や火気を使用する露店などの関係者の皆さんに対して、消火器の準備や所轄の消防署にあらかじめ「露店等の開設届出書」の提出を義務付けています。
ただし、近親者によるパーベキュー、幼稚園で父母等が主催するもちつき大会のように相互に面識があるものが参加する催しなどは対象外としています。
なお、開設届出書の提出により、火災予防の徹底をお願いすることを目的に、所轄の消防署で事前指導や現地指導をさせていただきます。
て頂く場合がありま
すので、よろしくお願
いいたします。



「あん姫」と「ねずこん」が「二目消防署長」管内事業所からは「二目消防士」

全国一斉に行われた「秋の火災予防運動」の一環として、十一月十日に管内事業所と合同の消防訓練を実施し、千曲市キャラクター「あん姫」と坂城町キャラクター「ねずこん」が一日消防署長として訓練を視閲し、管内事業所からの一日消防士とともに、管内の宿泊施設、店舗、温泉施設において、火災予防広報や住宅用火災警報器の設置推進PRを実施しました。



(写真右から)
望月消防長
千曲市キャラクター「あん姫」
下平直美さん(びんぐし湯さん館)
久保千恵子さん(ベイシア更埴店)
中村由季奈さん(ホテル圓山荘)
今井水穂さん(ホテル清風園)
村田茜さん(上山田ホテル)
坂城町キャラクター「ねずこん」





緊急通報者の発信場所が分かるシステム、運用中!

◆統合型位置情報システムとは?

携帯電話、IP電話、固定電話からの119番通報時に、通報者の発信位置に関する情報が、消防本部通信指令室の電子地図上に自動で通知されるシステムです。取得された発信位置情報を通報内容と併せることで、より正確な通報者の位置情報が消防本部で把握できるようになります。特に屋外からの携帯電話での通報や、具合が悪く話すことが出来ない時など、通報者が場所を正確に伝えられない状況で効果を発揮することが期待されます。

◆通報内容はこれまでどおり

システムにより通報者の掛けている電話の位置情報が取得できますが、電話の機種や電波状況により、システムによる位置情報の確認が十分にできないことがあります。通報の際は、これまで通り口頭で住所や目標物を伝えて下さい。



統合型位置情報システム



◆対象となる電話と通知される位置情報

NTT加入電話 IP電話	回線契約者の住所及び氏名が発信位置情報として取得されます。
携帯電話 (GPS付)	通報者の電話のGPS測位情報が、精度の高い発信位置情報として自動で取得されます。
携帯電話 (GPS無)	基地局情報から算出された、通報者のおおまかな発信位置情報が自動で取得されます。
050電話 有線電話	位置情報取得ができません。(050電話とは番号が050で始まる電話です)

※携帯電話の対象となる機種やGPS対応機種については、各携帯電話会社へお問い合わせ下さい。

スマートフォンの「緊急通報機能」にご注意下さい。

「ご注意下さい。」

皆さんはスマートフォンのロック画面にある「緊急通報機能」をご存知ですか?

これはロック中であつても119番通報などが出来る機能であり、機種によってはワンタッチで緊急回線に繋がる便利なものもあります。ところが最近この機能の誤操作による緊急通報が増えています。



◎誤操作を防ぐために

誤操作による通報は、ポケットの中などで意図せずに画面を触っているときに起こります。これを防ぐには、誤操作防止のためのアップデートをする、

通報の発信前に再確認をするアプリケーションをダウンロードするなどの方法があります。詳しくは各携帯電話会社へお問い合わせ下さい。

もし間違つて電話をかけてしまったら、ひと言「間違いです」とお伝え下さい。
ご協力をお願い致します。

ヒートショックを「ご存知ですか?」

「ご存知ですか?」

冬場の入浴では、暖房器具などで暖められた居間から、寒くて冷たい脱衣所へと移動して入浴する方も多いことでしょう。このように短時間の温度変化により、急激な血圧の変動がおきることを「ヒートショック」といいます。

急激な血圧の変動は心臓に負担をかけ、心筋梗塞や脳血管障害などの危険な状態につながりかねません。

こんな人は要注意!

- ① 高齢者
- ② 高血圧、糖尿病、不整脈、動脈硬化の方
- ③ 「いちばん風呂」の方
- ④ 「暑い風呂が好き」な方
- ⑤ 飲酒後の入浴

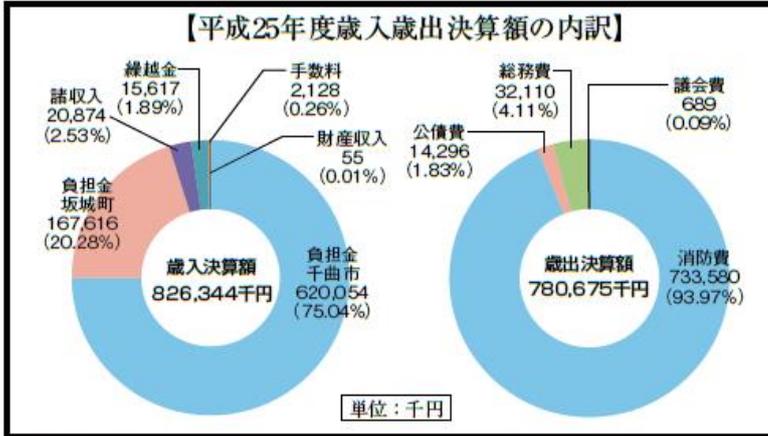
ヒートショックを未然に防ぐには?

居間と脱衣所、浴室の温度差を出るだけ小さくしておくことが大切です。

脱衣所に暖房器具を置く、浴槽の蓋を開け浴室を暖めておく、入浴前後にはコップ一杯程度の水分を補給するなど対策を講じ、湯船で一日の疲れを「ほっこり」とりましょう!



【平成25年度歳入歳出決算額の内訳】



- 消防費：職員の給与、車両をはじめ、消防救急等の資機材などです。
- 公債費：施設や設備、車両の整備等の借入金の返済金です。
- 総務費：庁舎関係、事務関係用品、電話、通信費、光熱水費等です。
- 議会費：消防組合議会のための費用です。 ※円グラフの単位は千円

平成二十五年
決算が認定される

平成二十六年第二回消防組合議会定例会が十月十四日に開催され、平成二十五年度の一般会計歳入歳出決算が認定されました。

決算の概要は、歳入総額は八億二千六百三十四万四千円、歳出総額七億八千六百七十五千円で、四千五百六十六万九千円の黒字決算になりました。

平成二十五年度は、住民の信頼と期待に応えられるよう、災害に強いまちづくりを目標に諸事業を進めてまいりました。

なお、決算の認定に当たっては、収支等いずれも適正に執行されている旨、監査委員から報告がありました。

第33回長野県消防救助技術大会で
当消防本部が2種目で優勝!



6月21日、長野県消防学校で開催された長野県消防救助技術大会に当消防本部から5種目、16名の救助隊員が出場しました。

このうち、ほふく救出、ロープ応用登はんで見事に優勝し全国大会への出場権を得ました。ほふく救出については、37秒4の大会記録で優勝、また、ロープ応用登はんは10秒6でこの種目では当本部初の優勝となりました。

救助隊では、この結果に満足せず、更なる救助技術の向上、そして地域住民の安心安全のために訓練に励み災害に備えたいと思います。

8月27日に千葉県消防学校で開催が予定されていた、第43回全国消防救助技術大会は、8月20日に広島市で発生した土砂災害により多数の犠牲者が確認され、行方不明者も多く、広島県内の各消防本部、また、近隣府県の緊急消防援助隊が出動し、救出活動等を行なっている状況であることから、本年度の全国大会は中止となりました。

犠牲者のご冥福をお祈りいたします。

新人職員の紹介

今年4月1日、当本部消防吏員の拝命を受けた4名です。4月から長野県消防学校において半年間の初任科課程を修了し、現在、消防士として戸倉上山田消防署に勤務しています。今後は、救急隊員としての資格取得課程修了後、消防活動の最前線で活躍します。よろしくお祈りいたします。



西野入 徳泰・太田 朗・高村 拳士郎・塚田 優騎
消防士 (戸倉上山田署所属)

平成25年中 火災・救急出動件数

火災出動件数 **54**件
救急出動件数 **3,420**件
救助出動件数 **48**件

※ 救急車の適正利用にご協力ください!!

電話番号のお知らせ

- ◎代表電話 (026)276-0119
FAX (026)276-9119
- 消防本部 総務課 (026) 275-2122
予防課 (026) 276-5875
警防課 (026) 275-2543
- 戸倉上山田消防署 (026) 275-0599
- 更埴消防署 (026) 274-0119
FAX (026) 273-1119
- 坂城消防署 (0268) 82-0119
FAX (0268) 82-1119

編集後記

今年を振り返れば、改めて自然災害の恐ろしさを強く感じた一年でした。二月の大雪に始まり、梅雨明けには全国的な豪雨により各地で記録的な降雨量を観測。そのような中で発生した広島県、更に県内南木曾町での土砂災害で、多くの人命が失われる事態となりました。

また、御嶽山の噴火は戦後最悪の火山災害となるなど、テレビをつければ連日のように報道される自然の脅威……いつ降りかかるとも知れない自然災害を、私たちは気にかけずにはいられません。

しかし、そのような中でも、明るいニュースはいくつも耳に入ってくる物です。例えばソチ冬季オリンピックでは男子フィギュアスケートの羽生結弦選手が金メダル獲得、スキージャンプでは葛西紀明選手が最年長メダリストとなる偉業を達成。夏にはテニスの錦織圭選手が全米オープン大会で、日本人初の準優勝を果たしました。また、富岡製糸場の世界遺産登録、ノーベル物理学賞の日本人三名同時受賞などの希望に溢れる出来事に、私を含め、多くの方が勇気や感動を与えられたのではないのでしょうか。